

負の所得税

政策変数は2つ

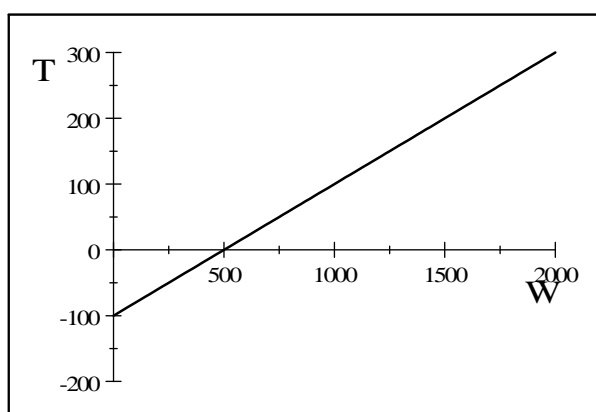
- (i) $0 < t < 1$ 所得税率 (一定)
- (ii) $\underline{Y} > 0$ 最低所得

租税関数

$$T(W) = tW - \underline{Y} \quad (1)$$

ただし, W は当初所得 (稼得所得). 図1 参照.

図1 租税関数 ($t = 0.2, \underline{Y} = 100$)



再分配所得 (可処分所得) D は,

$$D = W - T(W) \quad (2)$$

と表せる. (1) 式を (2) 式に代入すると,

$$D = \underline{Y} + (1 - t)W \quad (3)$$

が得られる.

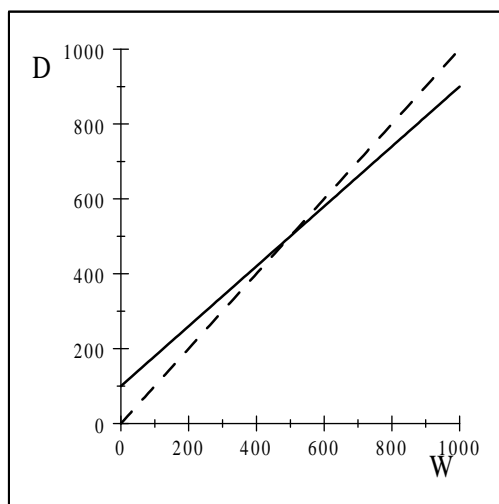
再分配所得と当初所得が一致するような所得水準を \underline{W} とおく. (3) 式で $D = W$ とおくと,

$$\underline{W} = \frac{\underline{Y}}{t} \quad (4)$$

図2 より,

- (i) 低所得者 ($W_i < \underline{W}$) は, 再分配所得 $>$ 当初所得
 - (ii) 高所得者 ($W_i > \underline{W}$) は, 再分配所得 $<$ 当初所得
- が成り立つ. 低所得者は再分配の恩恵を受けることが分かる.

図2 当初所得と再分配所得の関係 ($t = 0.2, \underline{Y} = 100, \underline{W} = 500$)



政府の予算制約式

$$\sum_{i=1}^n T(W_i) = 0 \quad (5)$$

n 労働者数

(5) 式は、税制を所得再分配のためだけに利用することを意味する。

数値例 $(W_1, W_2) = (100, 900)$ とする。(1) 式より、各個人の税額は、

$$T(100) = 100t - \underline{Y}$$

$$T(900) = 900t - \underline{Y}$$

(5) 式より、

$$\underline{Y} = 500t \quad (6)$$

(6) 式を満たすような税制 (t, \underline{Y}) を設計すれば、財政赤字は生じない。例えば、 $(t, \underline{Y}) = (0.2, 100)$ 。

(1), (5) 式より、一般的に、

$$\underline{Y} = t \cdot \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n W_i \quad (7)$$

が成り立つ。(7) 式は、当初所得の平均に税率をかけたものを最低所得に設定すればいいことを意味している。また、(4) 式より、

$$\underline{W} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n W_i \quad (8)$$

が成り立つ。(8) 式は、当初所得が平均以下の人 ($W_i < \underline{W}$) は、再分配により恩恵を受けることを意味している。何か問題でも？